1. 第1回 改定委員会の議題概要

(1) ビジョンの位置づけ、改定のポイント、進め方等の説明

三鷹駅北口街づくりビジョン

三鷹駅北口地区補助幹線道路の整備により、三鷹駅北口の交通環境が大きな変化を迎える概ね 10 年後の 目指すべき街の姿を描き、その実現に向けた取り組みを示したもの

【位置づけ】三鷹駅北口周辺の街づくりに関する、都市計画マスタープランの下位計画(地区別の個別計画)。

【改定主旨】 現計画策定後、8 年が経過。計画期間の 10 年を見据え、現況分析、現行計画評価等を行い、計画改定。

【検討体制】 改定委員会(諮問機関)と庁内委員会(庁内部会)と連携しながら計画案を検討

(2) 改定委員会について

【諮問内容】別紙のとおり(交通環境/土地利用/緑・にぎわい)。

【 進め方 】 改定委員会 計7回開催(R7年度3回、R8年度4回)、R8年度10月頃パブコメ案決定予定。

【各回議題】 第2回:土地利用、第3回:交通環境、第4回:にぎわい、第5回:計画素案、第6回:パブコメ案

(3) 現計画の進捗状況、現況分析、市民意見について

【進捗状況】 補助幹線道路相互通行見込み、駅前広場改修検討、産業振興・創業支援の取組み、にぎわい社会実験 等

【現況分析】 人口(全体:増加傾向、若年層:出入多↔高齢層:継続居住)、交通量(減少)、緑被率(低)、イベント(定着) 等

【市民意見】 全体キーワード:「三鷹駅北口らしさ」、「居心地がよい」、「落ち着きがある」、「ポテンシャルが高い」 等

(4) 饗庭教授講演

- ·「誰か」の個別的な**小課題を小さな空間を使って解決**する ⇒ 課題解決能力の高い、駅前広場・駅前地区をつくる
- ・「通路」と「広場」の2つの機能を活用
- ・空間をつくりすぎない、余白を大切にする、地区に小さな「広場」を埋め込む

2. 改定委員会で出た意見

交 通

駅前広場・駅前地区 広場 or 通路

地区に小さな「広場」を

埋め込む (川崎市)

子育て世代に人気

土地利用

企業と工業の街

生活様式の変化

大手飲食店の技

緑・にぎわい

質の高い緑の創出

玉川上水/植生

居心地

街を知らない⇒情報発信

食事する場所が少ない

美容院↑ 本屋↓

人々の自由な感覚を大事に 空間をつくりすぎない

9/26 事例視察(下北沢駅周辺の取組み)





7/16 三鷹駅北口周辺まち歩き

3. 第2回改定委員会の議題

第1回

- ・ 改定基本方針の確認
- ・諮問内容の共有
- ・現行計画の進捗状況
- ・現況分析等の一部説明 と今後の分析項目の 確認
- ·饗庭先生講演

第2回

- ・目指すべき街の姿決定
- ·計画対象範囲決定
- ・土地利用の方向性
- ・滞留空間づくり、 災害時の備えの充実
- ・文化資源の活用
- ・駅前にふさわしい 質の高い緑の創出
- •大沢先生講演

第**3**回

- ・駅前広場の拡張
- ・各路線の再編の方向性
- ・周辺道路の通過交通対策
- ·駐車対策
- ・自転車の走行に関すること
- ·田口先生講演

第4回

- ・駅前広場の拡張
- ・駅前広場拡張に向けた 市有地の考え方
- ・市有地のポテンシャル検討
- ・地域イベント、
- 地域活動活性化
- ・にぎわい環境づくり
- ·計画骨子案

第6回

・議論まとめ

第5回

·計画素案

・パブコメ案